

鼓童

2018

Spring

vol. 370

KODŌ

特集

鼓童を巡る海外での 新たな動き



鼓童を巡る海外での新たな動き

鼓童が活動理念に掲げる「ワン・アース(ひとつの地球)」。
鼓童は結成当初より、国内と並行して海外での活動を大きな柱としてきた。
太鼓コミュニティとの繋がりやの深まりや、異文化との出会いなど、
最近の新たな展開をご紹介します。

◎構成・編集：坂本実紀(ライター)、編集部 ◎写真：Mayumi Hirata、岡本隆史、小林弘樹、鼓童



公演とワークショップを通して メンバーが見た世界

今回の「螺旋(Spiral)」は、コンサートホールでの多いヨーロッパとは相性のいい公演だったと住吉佑太は語る。
「玉三郎さんの演出で、ヨーロッパの人たちの身近な楽器、バスタームやティンパニを取り入れたおかげで『ティンパニがある!』と、親近感も抱いてもらえました。ベルリン・フィルハーモニーなど名高いホールでの公演もありましたが、毎回総立ちの喝采をいただくことができてほっとしています。」

また今回、ツアーに同行する形で住吉や齊藤栄一、船橋裕一郎がヨーロッパの太鼓チームや様々な方々にワークショップ



プを行うという取組も行われた。

「太鼓に自分たちのアイデンティティがないから本物を知りたいと言われます。ただ『僕がワークショップでやっていることは正解でも本物でもない。伝統でもないし、やり方の一つ。正解じゃないけど面白がつてやってみると楽しいかもしれません。』と、最初の冒頭で必ず伝えます。『本物』というのは自分の外側にあるものじゃなく『自分が太鼓を追求していくその姿勢だから』と伝えています」(住吉)

ヨーロッパの太鼓、 鼓童の向き合い方

長く海外公演を経験してきた齊藤はこう語る。

「ヨーロッパでの太鼓の広まりは、日本で



デンマーク・コペンハーゲンの太鼓グループ「生動太鼓」でワークショップを行う船橋裕一郎(2018年2月14日)



エジプト・アレクサンドリアでのワークショップ。屋内で行う予定が、照明がつかず急遽屋外で行うことに。途中で参加者がお祈りを始めるなど、様々な文化の違いを感じた旅だった。



太鼓の魅力に取りつかれ自国に戻ってからも忘れられずに続けているという人が中心になっています。簡単には太鼓も手に入らない中で、周りの人達に太鼓の素晴らしさを伝えて仲間を増やし、様々なアイデアを取り入れながら自分達の形を削って行く。だから、新しい感覚に溢れている彼らの太鼓は自分達にとってとても刺激になります。」

作品はそこに続く入口になるようだ。「日本でも海外でも、その入口を増やしていくことや、敷居を低くすることで、よ

り伝わるものが濃くなっていく。そんな作業が今までもこれからもずっと大切だと思っています」(住吉)

「海外に行くのも、今までやってきた自分たちの蓄積を土台にしながら『今、自分がこんなことをやりたい』を重ねていくことが、鼓童の進んで行く道になっていくと思います」(齊藤)

50ヶ国目の国、エジプト

「エジプトは今ままで一番印象に残った国になった。」

二〇一八年二月九日、十一日のエジプトのアレクサンドリアとカイロの2都市で行われた公演とワークショップ。鼓童が訪れた50ヶ国目の地、エジプトを齊藤栄一はこう振り返る。

「イスラムって何となく怖いイメージがつきまとう。でも実際に行ってみたら人がとてもフレンドリー！僕たちがバスに乗っているとみんな手を振ってくれるし、公演も『次は何がおこるんだろう』っていう素直な反応でした。」

旅をする中で、鼓童のメンバーは世界のいろいろな楽器と出会う。エジプトでは、直径10センチほどの小型のシンバルを齊藤は見つけた。その楽器は、水売りのおじさんが歩きながら片手で音を響かせる、エジプトの伝統的の日常の音だ。

「公演中の楽器紹介でチャッププを見せながら『エジプトにもあるらしいですね』って言うのとみんな爆笑してくれました。」

新しい気づき

エジプトは観光地でもあり比較的開けているが、時々大規模なテロがおこる。エジプトに対する近隣の厳格なイスラムの国からの戒めのテロだ。その都度政府の国民に対する娯楽を取り締まる流れが強くなり、とうとう音楽の授業がなくなってしまったという。

そんなエジプトでのワークショップで、齊藤はどうコミュニケーションをとり、何

を感じたのか。

「今回一番戸惑ったのは息の合わせ方。太鼓ではアイコンタクトで意思疎通を図ることが多いけど、彼等には『なぜアイコンタクトで意思が通じるんだ？』と聞かれます。今まで見えていたのが『こちら側の世界』だったって気づかされる。それでも太鼓のゲームを通して試行錯誤を続けたら、『アイコンタクト面白え〜』ってなって最終的には分かり合えた気がする。こういう体験は、舞台で喝采をあげるのと、またちよつと違う感動があります。」

齊藤はエジプトを50ヶ国目にふさわしい国だったと振り返りながら、次の面白い国への挑戦に思いを馳せていた。



路上を歩くパンの売り子

太陽劇団 (Le Théâtre du Soleil)

1964年に結成されたパリの前衛的劇団集団。学生運動の時代に、学生が武器庫跡を占拠して演劇を始めたところから始まった。代表のアリアヌ・ムヌーシュキン(写真)はその後、時代の変化と共に社会貢献を重ね、国際イブセン賞やゲーテ賞を受賞。現在もパリの文化のシンボルとして人気を誇る演劇団。



羽茂・草苺神社能舞台にて(2017年8月)

鼓童若手連中 (Kodo Next Generation)

池永レオ遼太郎の初演出舞台。2017年アース・セレブレーションのECシアターでデビュー。20代前半～20代後半、舞台経験1～5年目の約10人の若手が出演。若手の「等身大の自分たち」を出したソロや新曲を取り入れつつ、鼓童の基本演目を中心にした「基礎に立ち返ること」をテーマとした若さとエネルギー溢れる舞台。



ジャポニスム 2018

鬼太鼓 (おにだいて、おんでこ)

地域の若衆が、年に一度の地域の祭事に向けて練習を重ね集落の人々の結束を固める、400年以上の伝統を繋ぐ佐渡を代表する芸能。鬼太鼓は佐渡島内に約120あると言われ、大きくは5流に分かれる。集落ごとに舞の型や太鼓のリズム、笛の有無などが異なっている。祭りの日には門付(かどづけ)と言って、集落の一軒一軒の家の玄関先で鬼が舞い、ご馳走がふるまわれる。家々の、そして祭りに集う皆のため、五穀豊穡、無病息災を祈願する。

パリ中心街にあるカフェ(旧教会)で鬼太鼓を披露する佐渡祭のメンバーたち(2018年2月24日)

フランス「太陽劇団」劇場で「鼓童若手連中」の公演が実現

太陽劇団の代表アリアヌ・ムヌーシュキン氏が、昨年のアース・セレブレーションで「鼓童若手連中」を観た直後から、是非パリに招聘したいという熱い想いを鼓



「Kodo Next Generation」を演出する池永レオ遼太郎

童に伝え今年7月、50年以上の歴史ある太陽劇団での「Kodo Next Generation」公演が実現する。

「若手の『やるぞ!』というエネルギーや情熱を持っていきたい」と、初めて演出をした池永は意欲を燃やす。

「大事にしているのは『伝統を継承すること、先輩が積み重ねてきたものをしっかりとリスペクトして吸収して体現すること、今の自分たちができる最大限の表現をすること、今ないものを作り出すということ』です。それを体現して、等身大の自分たちを見せてきます。」

池永はまっすぐな目でそう語った。今回の「鼓童若手連中」公演は、鼓童の継承の一つの形を示すことにもなるだろう。

佐渡と鼓童が世界でつながる

鼓童の本拠地佐渡島には、今も佐渡の人たちの暮らしに息づく芸能「鬼太鼓」がある。この鬼太鼓を、鼓童の海外公演とタイアップして世界に紹介する取組みが行われた。

佐渡の米農家の相田忠明氏が「愛すべき佐渡を世界に届けたい」との思いから企画した「佐渡祭ワールドツアー」がそれだ。二〇一七年の鼓童のニューヨーク公演に合わせて、相田氏が有志を募り3人で敢行。今年も参加者も十人に増え、「世界で門付を」とのテーマのもと、ドイツ、イタリア、フランスの3ヶ国で鬼太鼓の披露やワークショップを開催した。鼓童公演会場での披露は、ドイツ・ミュンヘンにて。公演前に

鬼太鼓が行われ、バナーや映像で佐渡を紹介し、チーフ配布なども行った。

面をつけ、太鼓の前で踊る鬼や、厄払いに頭を噛むしぐさをする獅子などは海外の人々に興味深く受け止められ、鼓童ははぐくまれた土地の文化の紹介として「佐渡」への関心の入口となったようだ。

また、佐渡の人にも自分たちの鬼太鼓が世界で関心を集める誇りある文化だということを感じてもらえる。今後はそれを高校生や若い世代にも、世界中で感じてもらうようにするのが目標だ。

見留 知弘 みとめ ともひろ

- Q1. 小さい時から太鼓を叩き、初回のECの太鼓教室に参加し、鼓童に入ろうと思いました。
- Q2. 家庭菜園とお花(雪割草)を育てること。
- Q3. 生真面目。
- Q4. 初めての国でしたが、大変盛り上がりました。また、文化の違いに驚く事ばかりで思い出深いです。
- Q5. いつも応援有難うございます。

齊藤 栄一 さいとう えいいち

- Q1. 自分の将来を考えていた高2の冬、仕事っぽくない仕事を探している時に前身の鬼太鼓座の公演をたまたま観て。
- Q2. 好みの赤ワインを探すことがマイブーム。ずっとブレません。
- Q3. 超楽道家・現場処理の男。
- Q4. 久々のカルチャーショック。ワークショップ開始5分後にお祈りの時間になっていきなり中断!
- Q5. いつも応援ありがとうございます。「道」でお会い出来ることを楽しみにしています。

今月の 鼓童メンバー

毎回、鼓童メンバーの素顔をご紹介するこのコーナー。今回はこの冬、記念すべき鼓童50ヶ国目となった「エジプト」公演に参加したメンバーから4人に登場してもらいました。

- Q1. 鼓童に入ったきっかけは?
- Q2. 最近ハマっていること、マイブームを教えてください。
- Q3. 自分の性格を一言であらわすと?
- Q4. エジプト公演の感想を何でもどうぞ!
- Q5. 読者の皆様へ向けて一言お願いします。



山脇 千栄 やまわき ちえ

- Q1. 人生は一回!と心機一転。自分のやりたいことに正直に、看護学生から鼓童へ。
- Q2. 現代民藝!
- Q3. 気に入る。直したい…。
- Q4. 人も街も建物も、すべてがスパイシー。そんなエジプトが初の海外での舞台。一生の宝です!
- Q5. 正団員となり、益々精進して参ります。宜しくお願い致します。

吉田 航大 よしだ こうだい

- Q1. 初の鼓童は玉三郎さん演出の「伝説」。ただ一目惚れでした。
- Q2. 日本の近代文学を読むこと。太宰治や森鷗外など。
- Q3. 面倒くさい男です。
- Q4. 鼓童ブログで私が書いた紀行文を読んでみてください!あと1週間長く滞在したかったなあ。
- Q5. なかなかとつきにくい第一印象ですが、これからどうぞ「吉田航大」を宜しくお願いします。

エジプト公演(2018年2月9日 アレクサンドリア、11日 カイロ)

日本とエジプトの文化交流を目的に、国際交流基金派遣事業を通じて実現。メンバーが語るように文化の違いを様々な感じたようだ。時間の感覚、宗教、はたまた交通事情まで。ただ、演奏後の大きな拍手や歓声は変わらず、また1つ鼓童にとって貴重な経験となる海外公演だった。



鼓童特別公演 2018「道」日本ツアー



2018年6月から8月に行われる2018「道」日本ツアー ～血沸き、肉躍る。～
演出の船橋裕一郎さんにお話をお聞きしました。

◎聞き手・編集：坂本実紀(ライター)、編集部 ◎写真：岡本隆史、鼓童

「道」という公演の持つ意味とは

鼓童の使命は、「太鼓を通して表現の可能性を広げていくこと」です。

玉三郎さんに来ていただいて、新しい表現にチャレンジしてきたのは、同じものをずっと続けていくことの難しさもあったと思うんですね。

そんな中、若い世代から鼓童が昔から続けてきた舞台をやりたいと言った声があがってきました。

新たなチャレンジをすることは常に続けていきますが、自分たちの軸というか、芯になるものは何なのか、立ち返る場所っていうのも同時に大切なんですよ。

そういう意味でも、鼓童が半世紀近く続けてきたものに立ち返る、大事なタイミングの公演だと思っています。

― 演 目 ―

公演(ツアー)で鼓童が、必ずやってきた演目があります。

大太鼓、屋台囃子、モノクローム、三宅、この4つはめったに外したことがありませんでした。

演出の中でちよつとずつ変えてきた部分がありますが、大太鼓に向かつていく流れはほぼ変えずにやってきました。

その4つの基本演目にも、最近取り入れている音の感じに少し解

釈を加えました。

この何年かで太鼓の音色の種類や出し方がすごく増えてきたんです。

玉三郎さんのご指導のおかげで、音の気持ちよさとか、声の使い方など、色々学んだことが身体にはいつてきた中で、メンバーが鼓童の古典なものをどうやって解釈するかって言うのが今回の公演の一つの挑戦かなと。

また基本演目以外にも、20年以上前の曲に「新しいもの」を感じて選んだり、若いメンバーが作ってくれた新曲も入れてみました。

― 出演者 ―

今回は20代から60代まで、幅広い世代を揃えました。

鼓童にとつて、公演して、反省して、次の公演をして、また次の場所に……という旅(ツアー)の中で得るものつてすごく大きいんです。

ただ、キャリアを重ねると後進の指導や体力のことなど、年間を通して同行することは大変です。そんなツアーを20〜40歳も年上



の人がついて一緒に回ってくれるのは貴重な機会です。

若手から先輩までいろいろな年齢が揃って、言葉と技術を受け継ぐ段階に入り、「道」を通して、鼓童がより強靱なグループになっていけばと思います。

― 衣装と「用の美」 ―

もっと自分たちの衣装の意味を見つめ直して解釈したいと思っています。

前身の佐渡の國鬼太鼓座の頃からあった職人的な恰好(衣装)や考へ方は、魅せるためのものというよりは使うため。で、それがなおかつ美しいという精神性を表したかったんじゃないかなあと思っています。

自分たちが打つ姿勢も「見せるためのふり」というよりは、「どうやったらいい音が出るか」というシンプルで打ち方なんです。今回のテーマのひとつでもある

『用の美』。機能的で立ち姿だけでも美しい、そういう世界観を大事にしています。

― 踏み固めてきた「道」その先 ―

玉三郎さんにこの5年間芸術監督として方向性や可能性を広げていただき、次は自分たちがどうしていくかが問われています。

厳しいところでもありますが、前に進むというエネルギーが大切だと思っています。

今回の「道」公演のサブタイトルは「血沸き、肉躍る。」

私が太鼓を初めて聞いた時に、細胞が活性化されて、血がざわわめいて、やってみたいと一歩を踏み出した感覚を大事にしています。

お客様には「明日もがんばろう」と思って頂けるよう、太鼓が響く舞台にしたいと思っています。



鼓童特別公演2018「道」日本ツアー

鼓童にとつて古典ともいえる舞台のなかから「型」を抽出し、鼓童のDNAを次代に継承する舞台。京都府綾部市を皮切りにいよいよスタートいたします。

■公演日程・会場 6/9京都府綾部市、6/10愛知県豊川市、6/13静岡県焼津市、6/16京都府京都市、6/20-24東京都台東区、7/14栃木県宇都宮市、7/16山形県山形市、7/18宮城県仙台市、7/20岩手県大船渡市、7/26北海道札幌市、7/29青森県青森市、8/1福島県いわき市、8/3茨城県ひたちなか市、8/4群馬県伊勢崎市、8/5東京都小平市 詳細は鼓童ウェブサイトをご覧ください。http://www.kodo.or.jp/

次の30年を見据え、小木から佐渡島のアース・セレブレーションへ

世界の音楽や人との交流を目的に、鼓童の帰港地である佐渡の小木地区を中心に毎年アース・セレブレーションが行われている(以下EC)。小木で育ててもらったこの祭りは、外からくる人を地域の人が受け入れてくれることで成り立ち、盛り上がってきた。

次の30年を考えた時に「佐渡全体で祭りの雰囲気を感じてほしい」と、祭りは新しい形へと進化することとなる。

祭りは、熱量の集る場所がないと成り立たない。ECで盛り上がっても、小木から出るとぼったりお祭りムードがなくなるのでは寂しい。

そんな思いの中、いろいろな場所でECを展開する試みを続けてきたが、一昨年「さどの島銀河芸術祭」との出会いがあった。佐渡生まれの美術家・吉田モリト氏が発起人で、地域の資源を題材にしながら佐渡を元気にしたいという志が同じだった。

佐渡はとても魅力的な島だ。でも「佐渡」に触れる面積が広がらないと、佐渡を知るのは難しい。今回、小木から佐渡全体に祭りを広げることで、コンサートにとどまらず、佐渡の人や、文化、そしてアートと、来てくれる人の楽しめる幅が広がる。

生の音楽は音が出ている時間だけ共有することができる。そういう意味では刹那的な芸術だ。でも美術作品は期間中そこにあり、佐渡の場所や人と繋がるきっかけになる。音と美術の2つの魅力が重なることで総合的なアートフェスティバルになり得るのではないだろうか。

体に音が響く、心に響く。人に「響く島。」佐渡を、ぜひ体感しに来てほしい。

さどの島銀河芸術祭

2016年にプレ開催し2018年にECと共同開催される、生まれたての芸術祭。

テーマは「過去と未来の帰港地」。忘れかけられている伝承や民話を、アーティストが媒介し、あぶりだし、もう一度島民に再発見し、誇りに思ってもらい、外から来た人にも佐渡の文化を知ってもらい、そんな気づきの場になるのが目的だ。

期間は8月10日～8月26日(前期)、9月28日～10月14日(後期)。ECは前期に重なる8月17、18、19日で、ECの最中もアートの展示を見ることができる。場所は、佐渡の表玄関である両津からECのメイン会場になる小木に向けた動線上の両津港周辺、加茂湖周辺、新穂や佐渡の北端部に位置する鷲崎、岩谷口、虫崎集落。

佐渡にまつわる作品や作家も豪華だ。目玉は、楳図かずお展。楳図作品の中に「わたしは真悟」という、1982年から1986年に雑誌に連載された知る人ぞ知る名作がある。その漫画の最後に「佐渡で何かが起こる」のだ。そんな作品の聖地ともいえる佐渡島で今回、楳図かずお展が開催される。

また、多方面で活躍し人気を博している宇川直宏のライブストリーミングチャンネルDOMMUNE(ドミュン)で2日間、今後のECと芸術祭についてトークが予定されている。

島内作家では、写真家の梶井照陰の写真展をはじめ、竹工芸家の本間秀昭、ガラス作家の戸田かおり、版画家のjuji、アーティスト吉田モリトらの作品が楽しめる予定だ。アート鑑賞だけでなく、ワークショップも開催されるほか、10月には岩首の柵田でクロージングイベントが行われる。



◀2017年のECと連動し、さどの島銀河芸術祭プロジェクトの一環として行われた佐渡の竹を使ったインスタレーション(左)、船小屋フェス(右)の様子。

詳しくは同封のパンフレットもしくはEC公式サイトをご覧ください。

鼓童公演

鼓童特別公演2018「道」日本ツアー

6/9(土) 京都府綾部市

京都府中丹文化会館 14:00開演
S席5,000円、A席4,000円、自由席3,000円
☎京都府中丹文化会館 Tel. 0773-42-7705

6/10(日) 愛知県豊川市

豊川市文化会館 17:00開演
S席5,000円、A席4,500円
☎恵の実後援会 Tel. 0533-65-9814

6/13(水) 静岡県焼津市

焼津文化会館 大ホール 19:00開演
一般5,400円、高校生以下3,000円
☎焼津文化会館 Tel. 054-627-3111

6/16(土) 京都府京都市

京都芸術劇場 春秋座 13:00開演
一般6,000円、学生&ユース3,000円
☎京都芸術劇場チケットセンター
Tel. 075-791-8240

6/20(水)-24(日) 東京都台東区

台東区立浅草公会堂
20・21・22・24日 14:00開演、
23日 11:00/15:00開演(2回公演)
全席7,000円
☎チケットスペース Tel. 03-3234-9999

7/14(土) 栃木県宇都宮市

栃木県総合文化センター 17:00開演
S席5,500円、A席5,000円
☎チケットスペース Tel. 03-3234-9999

7/16(月・祝) 山形県山形市

シベールアリーナ 18:30開演
全席5,000円
☎シベールアリーナ Tel. 023-689-1166

7/18(水) 宮城県仙台市

東京エレクトロンホール宮城 18:30開演
S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円
☎キョードー東北 Tel. 022-217-7788

7/20(金) 岩手県大船渡市

大船渡市民文化会館 リアスホール
18:30開演 全席5,000円
☎大船渡市民文化会館
Tel. 0192-26-4478

7/26(木) 北海道札幌市

わくわくホリデーホール 18:30開演
全席5,500円
☎道新プレイガイド Tel. 011-241-3871

7/29(日) 青森県八戸市

八戸市公会堂 16:30開演
S席6,000円、A席4,000円
☎キョードー東北 Tel. 022-217-7788

8/1(水) 福島県いわき市

いわき芸術文化交流館アリオス 中劇場
18:30開演 全席5,500円
☎キョードー東北 Tel. 022-217-7788

8/3(金) 茨城県ひたちなか市

ひたちなか市文化会館 大ホール 18:30開演
全席5,000円
☎ひたちなか市文化会館 Tel. 029-275-1122

8/4(土) 群馬県伊勢崎市

伊勢崎市文化会館 大ホール 16:30開演
全席5,500円
☎チケットスペース Tel. 03-3234-9999

8/5(日) 東京都小平市

ルネこだいら 大ホール 16:30開演
S席6,000円、A席4,000円
☎チケットスペース Tel. 03-3234-9999

鼓童 交流公演2018

5/27(日) 山梨県南風巨摩郡

富士川町ますほ文化ホール 14:00開演
一般3,000円、中学生以下1,500円
☎富士川町ますほ文化ホール
Tel. 0556-22-8811

6/8(金) 新潟県津南町

津南町文化センター 18:30開演
一般2,000円、中学生以下500円
☎津南町文化センター Tel. 025-765-3134

6/9(土) 新潟県見附市

見附市文化ホールアルカディア 15:00開演
一般2,000円、中学生以下500円
☎見附市文化ホールアルカディア
Tel. 0258-63-5321

鼓童小編成出演および公演

5/26(土) 新潟県新潟市

NST開局50周年 アース・セレブレーション
コラボイベント「鼓童&バックハー」
りゅーとびあコンサートホール
15:00開演 全席8,500円
出演 鼓童特別編成、伝統音楽芸能団バックハー(ベトナム)
☎NSTイベントインフォメーション
Tel. 025-249-8878



6/2(土)-3(日) 東京都渋谷区

This is NIPPON プレミアムシアター
初音ミク×鼓童 スペシャルライブ2018
NHKホール
2日 13:00/19:00開演(2回公演)、
3日 13:00開演
S席7,500円、A席6,500円
出演 初音ミク、鼓童ほか
☎ハローダイヤル Tel. 03-5777-8600

6/23(土) 神奈川県相模原市

「Concert for KIDS ~0才からの鼓童~」
杜のホールはしもと
11:00/14:00開演(2回公演)
子ども(0才~小学生以下)1,000円、おとな(中学生以上)2,000円、おやこセット券(大人1名+子ども1名)2,500円
☎杜のホールはしもと Tel. 042-775-3811

7/29(日) 新潟県湯沢町

FUJI ROCK FESTIVAL'18
苗場スキー場
イベント開場9:00/開演11:00/終演予定23:00
※鼓童の出演時間、ステージは後日発表
二次先行(4/6~6/1):1日券¥19,000/2日券¥34,000/3日通し券¥42,000
一般(6/2~):1日券¥20,000/2日券¥36,000/3日通し券¥45,000
☎fujirockfestival.com

料金はすべて税込み、特に表記の無いものは全席指定席、未就学児の入場は不可、発売日表記のないものは発売中です。
鼓童サイトの公演スケジュールのページから各公演会場の情報サイトにリンクしています。どうぞご利用ください。

Kodo Next Generation

太陽劇団劇場(フランス・パリ)

7/17(火)-18(水)、20(金) | 20:30開演

7/21(土) | 15:00/20:30開演(2回公演)

7/22(日) | 15:00開演



アース・セレブレーション2018

8/17(金)-19(日) 新潟県佐渡市 **先**

ハーバーマーケットライブ

ECシアター

ワークショップ・セミナーほか

詳細は同封のパンフレットをご覧くださいかEC公式サイトをご確認ください。

☎ <https://www.earthcelebration.jp>

鼓童「巡 -MEGURU-」国内ツアー

11月 香川、愛媛、高知、広島、岡山、鳥取、山口、大阪、滋賀、愛知、岐阜、新潟

12月 長野、静岡、千葉、神奈川、埼玉、東京

12/19(水)-23(日・祝) **先**

東京都文京区

文京シビックホール



文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
独立行政法人日本芸術文化振興会
(三重、松山、広島、倉敷、鳥取、岩手、多治見、長野)

藤本吉利 芸歴50周年記念 「たいこわらべ50年」(仮称)

12/24(月・振休) 東京都文京区

文京シビックホール

ソロ活動・ワークショップ

藤本吉利 ワークショップ

5/19(土)-20(日)、7/7(土)-8(日)

東京都目黒区

太鼓の里 響和館

大太鼓編 土曜 15:30-17:30

鬼剣舞編 日曜 11:00-13:00

和知太鼓編 日曜 14:30-16:30

各7,700円/回 | 定員:各12名

☎ 太鼓の里 響和館 Tel. 03-3714-2774

KASA/MIX 2018

9/1(土)-11(火) 新潟県佐渡市

鼓童文化財団研修所、深浦学舎ほか

☎ Donna Ebata

kodoarts@earthlink.net (英語のみの対応)

藤本吉利&藤本容子

三人行脚オセアニア・ワークショップ・ツアー
(オーストラリア・ニュージーランド)

5/31(木)-6/4(月)

豪州・メルボルン(太鼓、唄、踊り、笛WS)

☎ 網澤綾子

wasshoi@miyake.org.au (日・英)

6/10(日)-11(月・祝)

豪州・シドニー(太鼓、唄、踊りWS)

☎ Taikoz classes@taikoz.com (英語)

6/16(土)-17(日)

NZ・オークランド(太鼓、唄、踊り、笛WS)

☎ Heath heath@tamashii.co.nz (英語)

通訳:メラニー・テイラー

藤本吉利・藤本容子出演

6/2(土) オーストラリア、メルボルン

鼓童デュオ『二人行脚』inメルボルン

Featuring A.YA, Melbourne Shinobue Kai and Dokkoisa Wachi Kai

Library at The Dock | 18:30開演

\$35-\$15(全席自由)

☎ 網澤綾子/A.YA(エイ、ヤー)

a.yay.amusica@gmail.com (日・英)

6/9(土) オーストラリア、シドニー

TaikOz Live! With Kodo's Yoshikazu Fujimoto and Yoko Fujimoto

Darling Quarter Theatre | 19:30開演

出演:藤本吉利、藤本容子、TaikoZ(タイコース)

☎ Taikoz classes@taikoz.com (英)

鼓童塾〜齊藤栄一の太鼓篇

研修生の1日のスケジュールを体験していただきながら、塾長の齊藤栄一とひたすら太鼓に向かう3泊4日。

ご縁があって集まった仲間、かけがえない新たな出会いを楽しみましょう!



10/5(金)-8(月・祝) 新潟県佐渡市

鼓童文化財団研修所

指導:齊藤栄一(鼓童) ※日本語で進行します

55,000円(税込) ※鼓童の会会員の方は50,000円(3泊4日/講師料、バチ代、宿泊費、食費、保険代等含む)

対象:15歳以上の男女(2名以上のグループ参加は出来ません)

定員:20名

募集締切:7/31(火) 必着

☎ 佐渡太鼓体験交流館

Tel. 0259-86-2320



Friends of Kodo 鼓童の会 チケット先行予約のご案内

先 印のある公演は先行予約があります。会員の皆様は先行予約申込み用紙を同封しております。お申し込み方法はそちらをご確認ください。

読者の皆様のコーナー

鼓童と読者の皆様の交流コーナー。今回のお題は、昨年11月号で募集した山口幹文からの「音楽の役割とは何でしょうか」。なかなか難しいお題だったと思います。ただ、音楽は人にとって無くてはならないものだと、皆さんのお答えから垣間見えます。この世の中に音楽が無かったら? 哲学的な深いお題ですが、この機会に思い巡らすことも面白いかわかりません。

今月のお題

音楽の役割とは何でしょうか

体中に染み込んで、心身を浄化してくれる役割
(神奈川県・廣瀬順子さん・女性・70代)

子育て中の私にとって、音楽は切っても切れない関係。今、2歳の娘はドラえもんやアンパンマンの歌に加え、なぜか平井堅さんの歌にハマっています(笑)
(新潟県・2児の母さん・女性・40代)

鼓舞、清浄、表現、癒す、囃す。きえない音とは?
佐渡の國鬼太鼓座はきえない音を目指していました。
(兵庫県・高野巧さん・男性)

人と人とを繋げる役割だと思っています。音が人を呼び、音で会話する「音」そのものと、祭りやライブのような音楽の「場」も含めて、音楽は人と人とを繋げる役割を果たしていると思います。
(佐渡市・Yさん・男性・20代)

文字通り「音」を「楽しむ」ことなのではないかと感じました。バンドを組んでいた学生時代、まさに楽しかったな。今でも音楽は生活の一部です。
(埼玉県・じゅんちゃんさん・男性・40代)



●次号、夏号(8月)のお題は?

投稿お待ちしております!

藤本容子より「あなたのおすすめの佐渡の観光スポットは?」

ECも近づいてまいりました。何度も佐渡にお越し頂いている方、1度しか来たことがない方でも「ここはみんなに紹介したい!」佐渡観光スポットをどしどしお寄せください。王道でも穴場でも何でも結構です。皆さんとおススメ情報をシェアしましょう!

「お名前(もしくはペンネーム)」「鼓童の会会員番号」「住所」「性別」「年代」「お答え」を明記の上、メール、ファクスもしくはお葉書にて[6月25日(月)]までにお寄せください。お答えいただいた方に抽選で3名様に「藤本容子サイン入り鼓童グッズ」をプレゼントいたします。なお、お題に対する答えだけでなく藤本容子に聞きたいことなどでも結構です。

■ Email: friends@kodo.or.jp ■ Fax: 0259-86-3631

タイトルを「鼓童機関誌読者コーナー投稿」と明記の上、お送りください。

■ お葉書

〒952-0611 佐渡市小木金田新田148-1 鼓童村
「鼓童機関誌読者コーナー」係までお送りください。



鼓童オンラインストアからのお知らせ

■新商品発売中

4月より新商品が続々登場しております。
2018年秋公開「巡」公演仕様のアクリル根付にもご注目!



● 鼓童Tシャツ(つじ) …… 価格3,000円(税込)
● 鼓童ツアーTシャツ(黒) …… 価格3,000円(税込)

● 手ぬぐい「ドット」2種
価格1,600円(税込)

● 鼓童靴下(紺)
価格700円(税込)



● 鼓童アクリル根付
価格500円(税込)
● 鼓童アクリル根付「巡」
価格500円(税込)

■鼓童オンラインストアリニューアル

前回の機関誌でもお伝えさせていただきましたが、只今鼓童オンラインストアはリニューアルに向けて準備を進めております。リニューアルオープンの詳細につきましては、決まり次第、現オンラインストアのトップページにてお知らせいたします。新しい鼓童オンラインストアのオープンをどうぞお楽しみに!

■ 鼓童グッズのお問い合わせはこちらまで
Tel. 0259-86-3630(販売部) <http://www.kodo.or.jp/store/>

「巡-MEGURU-」 特設サイトOPEN!



2018年11月~12月、日本全国ツアーを開始する新作公演『巡-MEGURU-』の特設サイトがオープンしました。

<http://www.kodo.or.jp/meguru/>

ツアーに先駆けて、公演のテーマ曲となる新曲「巡」のMVも公開しております。https://youtu.be/3_vDafgrXTk

鼓童の拠点、佐渡島の映像を含む6分間のムービーが完成! 美しい風景の中での演奏をお楽しみいただけます。ヘッドホン着用をおすすめします。

Instagram: [kodoheartbeat](#) #kodomeguru
チェック&拡散してくださいね!



鼓童文化財団研修所 「夏の体験入所」開催

8月8日(水)~10日(金)の2泊3日で、「夏の体験入所」企画を実施します。研修所への応募を考えておられる方、またこの体験入所を通して今後の



進路を考えてみようという方が集まり、にぎやかな雰囲気の中で研修所の日常を体験していただくものです。

鼓童メンバーの見留知弘による「鼓童の太鼓の基礎」の稽古時間など、通常の体験入所にはないプログラムも含まれています。ご参加を心よりお待ちしております。

- 募集人員: 約15名 ※先着順とさせていただきます。
- 料金: 8,000円(税込) 宿泊費・食費・島内交通費含む(佐渡までの交通費はそれぞれにご負担ください)
- 集合・解散
8/8(水) … 両津港集合15時10分(12:35新潟発フェリー)
8/10(金) … 両津港解散12時10分
(両津 12:40発フェリー / 12:55発ジェットフォイルに乗船可能)
- 参加資格 / 高校生以上~2019年4月1日時点で25歳以下の方

予定する主な内容

- 稽古(鼓童メンバー: 見留知弘による稽古 / 見留知弘の研修生への稽古見学 / 研修生による稽古成果発表 / トレーニング / ストレッチ)
- 生活(食事作りと片付け・掃除・農作業など)
- 関連施設見学(鼓童村=太鼓芸能集団「鼓童」拠点 / 佐渡太鼓体験交流館)

■ お申込み・お問合せ(できるだけEメールでお願いいたします)
鼓童文化財団研修所(担当: 石原 泰彦)
Email: kenshujo@kodo.or.jp Tel. 0259-81-4100(鼓童事務所内)

メンバー短信

● 内田みのり、篠 健太郎、本間諒子が新しく北前船スタッフに、赤澤 京が鼓童文化財団スタッフに加わることとなりました。よろしくお申し込み申し上げます。

今月の付録

- 「EC2018パンフレット」 ● 「鼓童塾」チラシ ● 「古本募金きしゃぼん」チラシ ● 「巡」チラシ
- 「鼓童文化財団年次報告と計画2017-2018」 ● 郵便振替用紙 ● 会員のみ: 「EC2018チケット申込書」、「巡」文京公演先行予約申込書

「響く島。SADO」アース・セレブレーション2018 開催!

31年目となる今年、更に佐渡に広がる新たなECとなります! メインとなる3日間に加え、今年から立ち上げが本格化する「さどの島銀河芸術祭」や様々な佐渡のイベントと連動し、期間も内容も更に佐渡の魅力をもっと味わっていただけるフェスティバルとなります。「響く島。SADO」というスローガンを掲げ、新たなスタートを切るプロジェクトをどうぞお楽しみに!



アース・セレブレーション2018 メイン期間 8/17(金)~19(日)

メインイベント「ハーバーマーケットライブ」

8/17(金) 鼓童 Dance Night ~CHAKKA FES~

出演: 鼓童、PinO、TATSUO、DAZZLE & BLUE TOKYO 特別編成
ゲスト: マイケル・シャック (Roland/ベルギー)

他、ECシアター、フリッジ、ワークショップなど盛りだくさん!

8/18(土) 奄美ナイト~島の響き~

出演: 鼓童、元ちとせ、里アンナ、里歩寿

8/19(日) 鼓童オールスターズスペシャルライブ

出演: 鼓童オールスターズ

さどの島銀河芸術祭2018 <http://sado-art.com>

期間: 前期 8/10(金)~26(日)17日間 後期 9/28(金)~10/14(日)17日間

会場: 佐渡島内複数箇所 (両津地区、新穂地区、鷲崎地区、岩谷口地区、虫崎地区、岩首地区ほか)

詳細は今号の付録のパンフレットをご覧ください。公式サイトをご確認ください。 <https://www.earthcelebration.jp>

ロックフェスティバルの最高峰 FUJI ROCK FESTIVAL '18 に 鼓童出演決定!

2006年の初出演以来、12年振りとなる出演が決定しました! 世界中から集まるアーティスト達と共に、鼓童も特別編成で臨みます。11月からの「巡-MEGURU-」日本ツアーに先駆けて、「巡」FUJI ROCKアレンジも披露いたします!



CELEBRATING 20 YEARS IN FUJISAWA-NAGATA
FUJI ROCK FESTIVAL '18

2018年7月29日(日)

新潟県湯沢町 苗場スキー場

■ イベント開場・開演

開場9:00 / 開演11:00 / 終演予定23:00
※鼓童の出演時間、ステージは後日発表。

■ 料金

二次先行(4/6~6/1): 1日券¥19,000
2日券¥34,000 / 3日通し券¥42,000
一般(6/2~): 1日券¥20,000 / 2日券
¥36,000 / 3日通し券¥45,000
※保護者同伴に限り「中学生以下」無料

■ お問い合わせ

フジロック公式サイト fujirockfestival.com

2018年6月2日(土)、3日(日) 初音ミク×鼓童 再び!

This is NIPPON プレミアムシアター「初音ミク×鼓童 スペシャルライブ2018」はおかげさまで抽選先行予約も大好評をいただいております。最新情報はイベント公式サイトをご覧ください。 <http://kodo-miku.com>

最新情報は、

ウェブサイト facebook Twitter メルマガ をご覧ください。

鼓童 検索
<http://www.kodo.or.jp>

f @KodoHeartbeatJp
t @KodoHeartbeat
i @kodoheartbeat

鼓童 / (株)北前船 Tel. 0259-86-3630

- 鼓童公演、ソロ・特別編成公演のご依頼
- 公演依頼、ワークショップ講師派遣 heartbeat@kodo.or.jp
- 和太鼓などの楽器、CD・ビデオ、鼓童関連グッズ、書籍販売 store@kodo.or.jp

鼓童公演のチケットについて Tel. 0259-86-2330

鼓童文化財団 Tel. 0259-81-4100

- 鼓童の会、アース・セレブレーション等
- 研修所資料請求 kenshujo@kodo.or.jp

佐渡太鼓体験交流館(たたこう館) Tel. 0259-86-2320

- 太鼓体験(個人、団体)、見学
- info@sadotaiken.jp 開館時間9:00~17:00(月曜休館)

その他、鼓童へのお問い合わせはこちらへ Tel. 0259-86-3630(代) (月~金 9:30~17:00) Fax. 0259-86-3631

次号は8月10日の発行を予定しています。